

MOVEit® Transfer

ハイ・アベイラビリティ

複数の構成をサポート

- セグメント化されたネットワークの一部として MOVEit Transfer、ファイルシステム、データベースを、3つの異なるサーバーに展開
- ロードバランサーまたはアプリケーションノードを使用して、複数の MOVEit Transfer インスタンスに負荷を分散

MOVEit Transfer は、スケーラビリティと高可用性を提供する柔軟なアーキテクチャを持っています。このドキュメントでは、MOVEit Transferのハイ・アベイラビリティ（高可用性）機能の仕組みと、実装するために必要なリソースについて説明します。

階層型アーキテクチャと Web ファームをサポート

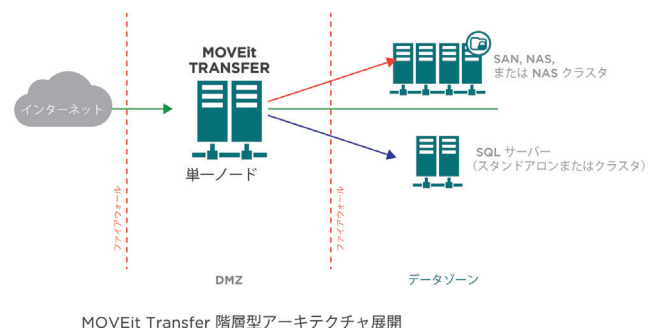
MOVEit Transfer は、ビジネス、テクノロジー、およびセキュリティの要件に応じて、1つまたは2つ以上のシステムに、様々な構成で展開できる柔軟なアーキテクチャを備えています。下のテーブルに、MOVEit Transfer がサポートする構成と、関連するビジネス要件、詳細を示します。

構成	ビジネス要件	MOVEit Transfer	詳細
階層型アーキテクチャ	セキュリティとITポリシー	1台の MOVEit Transfer サーバー	セグメント化されたネットワークの一部として MOVEit Transfer、ファイルシステム、データベースを、3つの異なるサーバーに展開
Web ファーム	パフォーマンスと拡張性	2台以上の MOVEit Transfer サーバー	ロードバランサーまたはアプリケーションノードを使用して、複数の MOVEit Transfer インスタンスに負荷を分散

階層型アーキテクチャ

階層型アーキテクチャでは、アプリケーション、データベース、ファイルシステムを別々のマシンで実行しながら、MOVEit Transfer を分散構成で展開できます。この構成は柔軟で、ファイル転送のパフォーマンスと可用性を高めるために拡張することができます。

単一のアプリケーションノード（1つの MOVEit Transfer アプリケーション）を使用した展開では、データベースとファイルシステムのコンポーネントを別々のサーバーに分割することでセキュリティが強化されます。ファイルとアクセス許可/設定データは、パブリックDMZから移動されます。多層展開では、インフラストラクチャを活用して、MOVEit Transfer を既存のデータベースサーバーと SAN/NAS ストレージサーバーと統合することもできます。



Web ファーム

階層型アーキテクチャを使って、さらに複数の MOVEit Transfer ノードを使用する展開（Webファーム）にすると、ファイル転送の負荷が分散され、パフォーマンスと可用性が向上します。リソースの要件については、次のページで説明します。

Web ファームを構成するには、インストールの計画と準備が必要です。スムーズに導入するのに役立つトレーニングと専門的なサービスを用意しています。



ご注意ください： シングルボックス NAS デバイスは、冗長電源、NIC、RAID ドライブがないため回復性に欠けるものが多く、そのようなデバイスは、単一障害点となる可能性があります。

階層化アーキテクチャで単一ノード構成にすることは可能ですが、複数ノードの Web ファーム構成にするには、それぞれ同じ数の組織とオプション（API インタフェースと Ad Hoc パッケージを含む）を持つ、最低2つの同一の MOVEit Transfer ライセンスが必要です。

2つ以上の MOVEit Transfer ライセンスを取得すると、Web ファーム構成に必要な「MOVEit Transfer Web Farm」アプリケーションを無料で使用することができます。

MOVEit Transfer Web ファームは、物理システムまたは仮想システムの任意の組み合わせを使用して実装できます（Microsoft Hyper-V と VMware ESX はどちらもこの目的のためにサポートされています）。

Web ファームのデータ・ストレージ

MOVEit Transfer Web ファームでは、複数のアプリケーションノード

（MOVEit Transfer アプリケーション）から、ファイル転送ゾーン（DMZ）とは別の LAN セグメント（データゾーン）にある共有データ保存場所を使用できます。ユーザー、ファイル、フォルダのメタデータ、および監査ログは、1台のホスト上にある MOVEit Transfer の SQL サーバー・データベースに保存されます。暗号化されたファイルとデバッグファイルはファイルシステムに格納されますが、これは別のシステムにあっても構いません。頻繁にアクセスされるグローバル設定は DMZ ノードのレジストリに格納され、データベースを介してノード間で複製されます。

高い可用性とパフォーマンス

MOVEit Transfer コンポーネントを分散して配置し、Web ファームにアプリケーション・ノードを追加することで、可用性が高まり、パフォーマンスが向上します。複数のデータベース・ノードと複数のファイルシステム・ノードをクラスタ化することで単一障害点を排除することができ、高可用性を実現できます。MOVEit Transfer Web ファームは、すべてのクライアント要求を処理し、ノード間でデータを調整する単一の MOVEit Transfer システムとして機能します。

ロードバランサ（LB）の要件

ハイ・アベイラビリティは、サードパーティー製のハードウェア・デバイス、ロードバランサ（LB）を利用します。個別のLBハードウェア・デバイスを配置する場合は、FTP と SFTP が必要であれば、LB は通信全体で各接続のトラフィックを同じ MOVEit Transfer ノードに転送できる必要があります。これは「スティッキー」接続とも呼ばれます。LB を選択する際には、SMTP通知、LDAP および RADIUS クエリ、そして使用されているサードパーティーの監視ツールからのパケットなど、MOVEit Transfer ノードからの特定の種類のトラフィックを処理する機能があるかどうかを確認する必要があります。

ネットワーク接続ストレージ（Network-attached storage、NAS）の要件

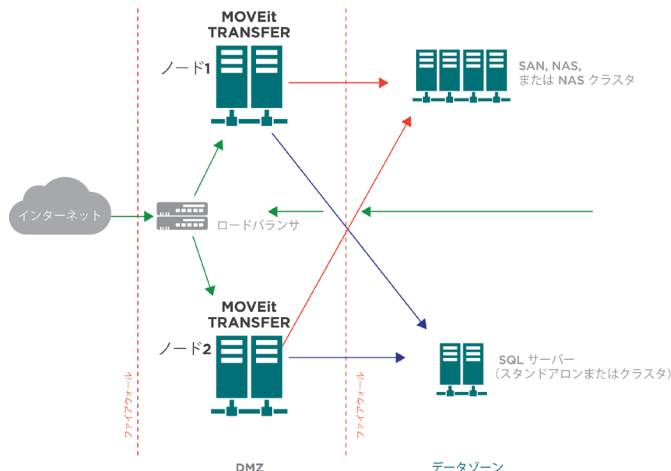
ハイ・アベイラビリティでは、各 MOVEit Transfer ノードにアップロードされたファイルを保存するために、NAS（ネットワーク接続ストレージ）などのサードパーティーのファイルシステムを使用する必要があります。各ファイルは、保存される前に、内蔵のFIPS 140-2検証済み256ビットAES暗号化を使用した MOVEit Transfer によって保護されています（各ファイルは、暗号化された独自のキーを持ちます）。既存の内部 NAS を MOVEit Transfer 構成の一部として使用する場合は、MOVEit Transfer ノードがファイアウォールの DMZ セグメントから内部 NAS と通信するために、必要なファイアウォールルールの最小数を決定する必要があります。

ストレージエリアネットワーク（SAN）オプション

ハイ・アベイラビリティで、MOVEit Transfer AES暗号化ファイルを保管するためのファイルシステムとして、SAN（ストレージエリアネットワーク）を選択することもできます。SAN を使用する場合は、そのための別の MOVEit Transfer ライセンスは不要で、維持費が発生することはありません。SAN を使用するには、NAS インタフェースとして機能するように設定された中間マシンを使用する必要があります。たとえば、2つの MOVEit Transfer ノードを使用する構成において、ファイバーSAN接続が利用可能な場合は、SANに接続し（ファイバー経由で）、SAN ドライブを MOVEit Transfer のプライマリおよびセカンダリと共有するための3番目のボックスを設定する必要があります。

データベース

データベースアプリケーションには、Microsoft SQL Server を使用する必要があります。ハイ・アベイラビリティの構成には Microsoft SQL Server クラスタが推奨されます。



ご注意ください： SAN ドライブは、冗長電源やNICなどの機能を装備する必要があります。